

霞城



第20普通科連隊広報紙 発行所/山形県防衛協会

第20普通科連隊ホームページアドレス
https://www.mod.go.jp/gsdff/neae/6d/unit_hp/20i_hp/index.html

第20普通科連隊 検索

隊区担当中隊



- 第2中隊
- 第1中隊
- 重迫撃砲中隊
- 第3中隊
- 第4中隊



No.731

KAJYŌ



ホームページは
こちらから!



第32代連隊長 武田 宜則1等陸佐が着任



「第61回山形花笠まつり」に 参加

Contents

- 2ページ
- 第32代連隊長 武田 宜則1等陸佐が着任
 - 「令和5年度師団総合戦闘射撃及び令和5年度重迫撃砲中隊実射検閲」を実施
- 3ページ
- 「第61回山形花笠まつり」に参加
 - 第31代連隊長 荒木 貴志1等陸佐が離任
 - 令和5年度前定期異動に伴う「転入者紹介」を実施
- 4ページ
- 新隊員後期教育「新隊員射撃野営」を実施
 - 県内各地で車両展示「PCO 広報展」に協力
 - 「山形市防災フェスティバル」に協力
 - 隊員紹介コーナー
 - 各種表彰
 - 成績紹介
 - 10月行事予定

2023
September
9

第32代連隊長 武田 宜則1等陸佐が着任



師団長による武田1佐の紹介

8月1日付で、第32代第20普通科連隊長として、陸上幕僚監部(市ヶ谷)より、武田 宜則1等陸佐が着任した。

8月1日(火)、武田1佐は駐屯地慰霊碑に参拝した後、副連隊長以下の幕僚・各中隊長が迎えるなか初登壇した。

同日、駐屯地管庭において着任式が実施され、立会官(師団長 楠見陸将)による着任連隊長の紹介が行われた。引き続き武田1佐は着任の辞を述べ、統率方針に「任務完遂」を示し、「相互信頼」を要望事項とすることを伝えた。また、観閲行進を実施し、連隊の威容を武田1佐が確認した。

連隊一同は新連隊長を迎え、新たな統率方針のもと、最も強く信頼される連隊としていついかなる任務にも即応完遂することを誓った。



慰霊碑参拝



着任の辞を述べる連隊長



観閲行進

「令和5年度師団総合戦闘射撃及び 令和5年度重迫撃砲中隊実射検閲」を実施



120mm迫撃砲



対人狙撃銃



01式軽対戦車誘導弾



小銃小隊戦闘射撃

8月18日(金)から22日(火)までの間、王城寺原演習場(宮城県)において「令和5年度師団総合戦闘射撃・令和5年度重迫撃砲中隊実射検閲」が行われ、機能別射撃、昼間夜間における小銃射撃、陣地攻撃における戦闘行動に連携した総合戦闘射撃等を実施した。

各中隊の小銃小隊は昼間及び夜間における戦闘射撃を実施し、練度を向上させたほか、中距離多目的誘導弾及び01式軽対戦車誘導弾は夜間射撃を、個人携帯対戦車弾では薄暮射撃を実施し、日中とは違った環境下での射撃をするなど、今後訓練効果を向上させるための資を得た。

また、総合戦闘射撃は一連の中隊の攻撃行動に基づきつつ、安全管理を徹底して行われた。小銃小隊は小隊長の指揮・統制の下、実弾を携行した状態で攻撃前進を開始、81mm迫撃砲及び120mm迫撃砲、狙撃班の射撃が小銃小隊の前進を支援し、小銃小隊は次々と現出する敵を撃破し攻撃目標を奪取、引き続き逆襲対処まで一連の任務を遂行した。

21日には重迫撃砲中隊の実射検閲が行われ、重迫撃砲中隊長狩野1尉を核心とし、全隊員が必中の精神で取り組み、終始を通じ、小隊、前進観測班及び射撃指揮班が緊密な連携を図り、骨幹火力戦闘部隊として日頃の練成した成果を発揮し、迅速・正確な射撃を行い任務完遂した。

連隊は本訓練を通じ、各種火器の射撃練度向上を図るとともに、陣地攻撃における戦闘行動に連携した射撃要領を演練することができた。引き続き、10月に予定されている師団訓練検閲に向け連隊一丸となり取り組んでいく。

「第61回山形花笠まつり」に参加

8月5日(土)・6日(日)の両日、花笠パレードコースで実施された「第61回山形花笠まつり」に参加した。山形花笠まつりは、山形市十日町交差点から「文翔館(旧県庁)までの約800mを踊り歩く祭り。今年も4年振りに新型コロナウイルスによる発声(掛け声)の制限のない形での開催となった。祭りは毎年8月5日から7日の3日間を基準に開催され、多くの観客が訪れる山形を代表するイベントであり、とりわけ自衛隊の統制美とキラのあふれる踊りを楽しんでいる方も多くいる。

連隊からは、躍動感あふれる笠回りを持ち味の選抜された花笠隊に加え、新隊員による若き溢れる正調踊り(一部アレンジ)、ダイナミックな動きが魅力の花笠で編成された踊り手72名が山形の真夏の夜を彩った。

隊員たちは、意気軒昂とした勢いある動きと自衛隊らしく統制された踊り、若き溢れる元気いっぱい掛ける掛け声で会場と一体となり花笠まつりを盛り上げ、沿道からはひととき大きな拍手と掛け声が送られていた。



声援に手を振り応える踊り手



新隊員も元気いっぱいに踊り切った



大きく華麗な笠回りで観客を魅了



連隊長から歓迎の言葉を受ける転入者



相互に敬礼



転入者代表挨拶(宮嶋2尉)

令和5年度前期定期異動に伴う「転入者紹介」を実施



離任の挨拶



連隊全員に見送られる荒木1佐

令和3年3月の着任以来2年4カ月間、連隊を指揮した荒木1佐は、連隊の全隊員による盛大な万歳三唱で見送られ、駐屯地を後にした。

伝えるとともに「私の任務は、部隊を鍛えて、任務に赴かせ、無事に家族のもとに帰すことである。連隊検閲、災害派遣、DGP、各種訓練、教育等みんな本当によくやってくれた。これからも陸上自衛隊第20普通科連隊ここにありと示すように頑張ってもらいたい」と離任の辞を述べた。

第31代連隊長 荒木 貴志1等陸佐が離任

7月31日(月)、駐屯地宮庭において第31代第20普通科連隊長 荒木 貴志1等陸佐の離任式を実施した。

荒木1佐は20連隊勤務での思い出と感謝を



離任連隊長に敬礼

令和5年度(前期)

転入者(幹部:2名 曹士:15名)			
中隊	氏名	階級	前部隊
連隊本部	武田	1佐	市ヶ谷駐屯地
本部管理中隊	宮嶋	2尉	海田市駐屯地
同	佐藤	曹長	帯広駐屯地
第1中隊	森谷	1曹	美幌駐屯地
同	新原	2曹	帯広駐屯地
同	保角	2曹	高田駐屯地
同	土田	2曹	帯広駐屯地
第2中隊	佐々木	2曹	美幌駐屯地
第3中隊	佐藤	1曹	新発田駐屯地
同	菅野	2曹	帯広駐屯地
同	片桐	2曹	対馬駐屯地
同	岩田	3曹	美幌駐屯地
第4中隊	松倉	2曹	滝ヶ原駐屯地
同	結崎	3曹	宮志野駐屯地
重道警備中隊	藤田	1曹	多賀城駐屯地
同	宮地	3曹	東平塚駐屯地
同	吉村	3曹	信太山駐屯地

令和5年度前期定期異動により、17名が新戦力として転入した。

8月15日(火)、B庁舎舎後において連隊朝礼が行われ、転入者の紹介が実施された。紹介は転入者がそれぞれ自己紹介をした後に、本部管理中隊 宮嶋2尉が転入者を代表して「歴史と伝統ある第20普通科連隊で勤務できることを誇りに思っています。不慣れなところはありますが、転入者一同精進してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。」と挨拶した。

翌16日(水)には、B庁舎会議室において、新着任者教育が行われ、連隊長訓示、連隊幕僚等から所掌の事項について教育があり、20連隊についての認識を深めた。参加した隊員は少しでも早く、部隊に慣れるために真剣な表情で耳を傾けていた。



新着任者教育で訓示する連隊長

10月行事予定

12日(木)～18日(水)

・#2師団訓練検閲

21日(土)・山形流通団地まつり
(車両展示)

22日(日)～11月2日(木)

・秋季演習場統一整備

29日(日)・イオン米沢開店記念祭
(車両展示)

各種表彰

【方面總監表彰】

○第5級賞詞
(隊員自主募集による功績)

- 連隊本部 伊藤 2 尉
- 本部管理中隊 庄司 1 曹
- 同 結城 3 曹
- 同 結城 3 士長
- 同 渡部 1 士
- 同 井上 2 士
- 第1中隊 鈴木 3 曹
- 第2中隊 橋本 2 曹
- 同 栗田 3 曹
- 同 後藤 3 曹
- 同 松本 3 曹
- 同 市川 3 士長
- 同 土田 3 士長
- 同 堀 3 士長
- 同 島津 3 士長
- 第3中隊 伊藤 2 曹
- 同 伊藤 3 曹
- 同 工藤 3 士長

【派遣海賊行動対処支援隊長表彰】

○隊司令賞
(職務遂行による功績)

- 第1中隊 文屋 2 曹
- 同 奥山 2 曹
- 同 黒沼 3 曹
- 第2中隊 高梨 1 曹
- 同 大沼 3 曹
- 同 佐藤 3 曹
- 同 市川 3 曹
- 同 佐藤 3 曹
- 同 渡辺 3 曹
- 同 横澤 3 曹
- 同 樋口 3 曹
- 第3中隊 同
- 第4中隊 同

8月19日(土)から20日(日)までの間、王城寺原演習場(宮城県)において令和5年度新隊員教育における「81mm迫撃砲」16実弾射撃訓練、「120mm迫撃砲RT(牽引式重迫撃砲実弾射撃訓練)」を実施した。

訓練は、第1中隊、第4中隊及び重迫撃砲中隊の支援を受け、熱中症対策を含め、安全管理を徹底して行われた。射撃間、真夏の太陽が照り付ける厳しい環境下であったが、新隊員たちは最後まで集中力を維持し、確かな動作で射撃を行ったほか、気迫溢れる声で射撃号令を復命復唱し、元氣満ちた姿で訓練に励んでいた。

また、実弾を目の前に新隊員は緊張した面持ちであったが、普段の訓練の成果を発揮し、整齊と射撃動作を行い、新隊員は、「駐屯地での事前訓練を思い出しながら落ち着いて射撃をすることができた」と感想を述べ、今後の教育に臨む意気込みを新たにしていた。



120mm迫撃砲射撃

新隊員後期教育 「新隊員射撃野営」を実施



81mm迫撃砲射撃



自衛隊プラチナ広報展(白鷹)

8月2日(水)から26日(土)の間、県内各地で自衛隊山形地方協力本部が実施する広報展にそれぞれ協力(別表)し、車両展示を実施した。

イベント当日は、多くの来場者が訪れ会場は賑わいを見せた。協力した隊員たちとの記念撮影とともに、寄せられた質問に対し流暢と受け答えを行うなど、来場者を喜ばせた。

連隊は、広報展協力を通じ、地域住民等の自衛隊の活動に対する理解の促進と魅力の醸成を図ることができた。

実施日	イベント名	協力人員	車両展示内容
8月2日(水)	自衛隊プラチナ広報展(白鷹町)	第4中隊 4名	高機動車
8月5日(土) 6日(日)	艦艇広報(鶴岡市)	本部管理中隊 2名 第2中隊 2名	1½t救急車、軽装甲機動車
8月11日(金・祝)	東根まつり(東根市)	第1中隊 3名	軽装甲機動車、オートバイ
8月11日(金・祝)	さかた夏の緑日まつり(酒田市)	第2中隊 2名	軽装甲機動車
8月15日(火)	大石田雑新祭(大石田町)	第1中隊 3名	軽装甲機動車、オートバイ
8月26日(土)	置賜地区自衛隊プラチナ広報展(米沢市)	第4中隊 3名	軽装甲機動車、オートバイ

県内各地で車両展示 「PCO広報展」に協力



さかた夏の緑日まつり(酒田)

隊員紹介コーナー 山形花笠まつりに参加して

○新隊員教育隊
・伊藤 2 士
最初には緊張しましたが、観覧されている方からの声援を受け、緊張もほぐれていき、同期とともにいい踊りができてよかったです。

・志田 2 士
自衛隊として山形花笠まつりに初めて参加しました。沿道の方々からのたくさんの声援をいただき、とても貴重な体験でした。



記念撮影(装備品展示)



炊事車による調理の様子

「山形市防災フェスティバル」に協力

8月26日(土)、山形国際交流プラザで実施された「山形市防災フェスティバル」に第3中隊(中隊長 丸山 3 佐)から7名が参加し、炊き出し及び装備品の展示を実施した。

本イベントは、近年頻発する大規模災害に備えるため、参加・体験により、防災に触れあうことを目的としたイベントであり、防災マルシェ、防災働く車、防災に関する展示・体験等が行われた。

連隊が協力した炊き出しでは、調理担当の隊員が200食のカレーを炊事車により調理し、ボランティアの手により配られた。自衛隊のカレーということもあり、配られる前から列ができ、気温が高く暑い中でも人気を博していた。

また、装備品展示においては、目にする機会が少ない炊事車について多くの質問が寄せられ、協力した隊員たちは質問に対し流暢と受け答えを行うなど、来場者との交流を図った。

本協力を通じ、自治体及び地域住民等の自衛隊の活動に対する理解の促進と信頼の獲得を図ることができた。

成績紹介

【銃剣道訓練隊】
高松宮記念杯争奪第31回全日本銃剣道選手権大会
・優勝 第2中隊 赤平 2 曹

(1994年第2回大会以来29年ぶり、連隊2人目)